

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170503601		
法人名	有限会社 ほのぼの月寒		
事業所名	グループホーム ほのぼの月寒		
所在地	札幌市豊平区月寒東2条19丁目20番59号		
自己評価作成日	平成23年6月26日	評価結果市町村受理日	平成23年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>『笑顔と思いやり』が常にあるように職員は努めています。縁があって住んでいる利用者様が『良かった』と安心していただけるように支援し、ご家族の皆様にも満足していただけるような ほのぼのとしたグループホームを目指しています。</p> <p>利用者様の可能性や希望を見出し、望むことへの支援をできるだけ取り入れています。</p>
---

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170503601&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170503601&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年7月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>幹線道路から少し入った、交通の便の良い、閑静な住宅地に位置する。 新任の施設長が先頭に立ってシステムやファイリング方法の見直しにより事務作業の合理化を検討中である。また、あまり緊密でなかったご家族とは、これまで以上にこまめに連絡、情報を提供し、相談にのるなどして信頼関係を深め、ホームに任せがちだった家族が積極的に関わることなど前進が見られるようになった。 職員は本人の意向や希望をよく汲み取り、居酒屋、カラオケなどにも同行し、本人の満足を第一に考えた支援を心掛け、少しでも想いが叶えられるように取り組んでいる。 利用者との触れ合いやたまたまいが全体に和やかで、ゆったり、のんびりしており、ほのぼのとした雰囲気を感じさせる。</p>
---

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念『笑顔と思いやり』 笑顔をもって、明るくほのぼのとした雰囲気 を全職員が実践している。	「笑顔と思いやり」を表題に掲げ、ほのぼのとした 雰囲気作り、質の高い介護、地域との繋がり の3項目の理念を掲げている。理念は日ごろから幹部職員 が強調しており、職員の意識によく浸透し、雰囲気 の中に理念の影響が表われていると認識されて いる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会のごみ清掃や町内会議への参加、運営推 進会議に町内会会長・副会長・民生委員等に参加 していただき、情報交換を行っている。	町内会に加入して、清掃や植樹などの活動に利用 者とともに参加している。散歩の時は近所の方に 積極的に声をかけ、庭の花や野菜のやり取りなど の付き合いをしている。ホームの夏祭りには近隣 の住民を招いて交流親睦を図っている。	グループホームを知ってもらうため、また地域への 貢献を実現するために地域住民を招いての食事会 や見学会なども構想中とのことであるが、その実現 に期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている	ホームでおこなう夏祭り等に参加していただき、グ ループホームの存在を知っていただいている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評 価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	以前は運営会議の開催回数が少なかったが、現 在は2か月毎の開催とし、様々な意見交換をしサ ービスの向上に努めている。	今年に入って2ヶ月に1回、着実に開催されるよう になった。町内会長、民生委員、地域包括支援セ ンター、消防署・消防団などがメンバーとなってい る。町内会長には根気よく意義を説明して、積極的 な協力が得られるようになった。災害対策などに ついて会議から多くのアドバイスを得ている。	これまで家族の参加があまりなかったが、次回から は参加を得る予定とのことなので、その実現と以後 も定着することに期待したい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えな がら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市が主催する会議や研修には積極的に参加し、相 談や疑問等があれば、直接担当者に相談し、指導 を受けている。	生活保護の利用者が過半数を占めることもあ って、器具のリースやおむつの支給などについて市 の担当者と相談する機会は多い。地域包括支援セ ンターを中心に空き室情報の交換も緊密に行っ ている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サ ービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サ ービス指定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含 めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については資料や外部研修等で職員は 理解している。	市の研修会には年間2、3人は参加し、それを基にフ ロア会議で勉強会を実施して職員に周知されてい るので、問題になるような拘束は起こっていない。玄 関の施錠は夜のみとし、不意の外出は見守り で対応し、上手な声かけで危険を予防している。ベ ッド柵や車いすからの立ち上がり防止などは場 合に応じて職員間で話し、拘束にならない配慮 をしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での 虐待が見過ごされることがないように注意を払い、 防止に努めている	研修会参加の職員による伝達講習をミーテ ィング時に行い、毎朝の申し送りや日常の生活 の場において常に虐待となるような発言、行 動はないか細かなことでも虐待防止に努 めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修に参加したした職員により伝達講習をミーティング時におこなっている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には入居前に時間をかけてご家族に説明し、理解・納得していただいている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃からご家族には何でも話していただけるような雰囲気作りに努めている。</p>	<p>日ごろから家族には何でも気軽に話してもらえるような雰囲気作りに気を使っている。来訪した時はできるだけ意見を聞き出すように努め、こまめに電話をかけ、家族の都合によっては自宅を訪問してじっくり話を聞くなどして信頼関係の構築に成功している。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が職員と個別に面談し、職員の意見や要望を聞く機会を設け運営に反映させるように努めています。</p>	<p>施設長が各職員に対して年1回以上の個別面談を実施し、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、その中で、上からの指示命令の明確化や新入職員の教育体制の整備などの意見が出され、運営に反映されている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員が働きやすい環境・条件が十分ではないが努めている。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員が出来るだけ研修に参加できるように機会を設けてます。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホーム管理者と情報交換し、職員を見学させたり、見学の受け入れをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを利用する前に、ご本人よりこれからの希望や困っていること、要望などに耳を傾け、ご本人が安心していただけるように努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談で、ご家族より希望や困っていること、要望などを聞き、ご家族が安心していただけるように努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学や入所を前提に相談を受けたとき、本人やご家族の思いを尊重し、現在ホームでできること明確にするようにしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も利用者様も同じ家庭で、家族の一員として考え、共に助け合いながら暮らしを共にする関係に努めています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との情報交換や、情報を共有することにより、利用者様にとってよりよい生活支援を提供できるように努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人がホームに遊びにきてくれる方は限られているが、継続的な交流ができるように努めています。	友人知人の来訪には職員が歓迎の対応をして交流を支援している。行楽や病院受診で外出の折、利用者の馴染みの場所のそばを通る時は、あえて周り道をしてその場所に立ち寄り懐かしんでもらっている。職員が墓参りに連れて行くこともある。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員間で利用者様の情報を共有し、常に状態を見ながら職員も一緒に会話をもつようにし、利用者様同士の関係が円滑になるような働きかけをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームを退去されて医療機関にて治療されている方を見舞い、他界された方にはご焼香させていただくなどし、継続的に相談や支援に努めています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活のコミュニケーションの中で、ご本人思いや意向を聞くように努めています。	利用者から積極的に思いや意向が表出されることは少ないが、職員は長年の勤と努力と思いやりの心から巧みに気持ちを読み取り、かゆいところに手の届くような介護を行っている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談や見学時にできるだけ詳細にご家族やご本人から話を聞いています。入居後も毎日の生活の中やご家族来訪時に情報を入手し把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の介護記録や連絡ノートで情報を共有しながら確認し、毎日の申し送りでは各職員が持っている情報を提供してもらい支援に結びつけています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様やご家族からの要望を取り入れ、センター方式を利用した介護計画を作成しています。	家族の要望は具体的なものが出にくいので、計画を示したり提案をしたりして聞き出している。計画はケアマネジャーが中心になって、毎日の申し送りで話し合ったことやカンファレンスでの話し合いを基に作成し、職員と家族が確認して実施に移している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に利用者様の表情がわかるように情報を記録し、申し送り時にも職員間で情報を共有し、介護計画に反映するようにしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	季節に応じた外出に柔軟に対応し、居酒屋やカラオケに行くなど個別の対応も行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園、商店、スーパーへの買い物、ドライブなどを通して地域資源を活用しています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望する医療機関への受診できるように支援しています。	かかりつけ医は家族と本人の希望に沿って決められ、事業所の協力医以外を主治医とする利用者が数名いる。受診はいつでも職員が同伴し、医師と直接情報交換して適切な診療とその後のケアに遺漏がないようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護による看護師と利用者様、職員が気軽に相談しながら日常の健康管理と主治医への情報提供を行い指示をいただいています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には利用者様の治療方針や、入院後の情報や経過を定期的に主治医や看護師より入手しご家族に提供しています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時にご家族や本人に継続的な医療行為が発生した時はグループホームでの対応は困難であること、重度化した場合や終末期についてはその都度話し合いにより検討していくこととしています。	入居の際に、「重度化対応・終末期ケア対応指針」の文書によって、対応のあり方についての確認を交わす。医療連携体制に基づく必要なサービスを提供するとともに、継続的な医療のために入院が必要となる場合を除いて、本人と家族の希望により終末期の看取りまで介護を続ける体制である。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	火災避難訓練時に救命救急士による講習会をおこなっているが、定期的な応急手当の講習会は行っていない。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと昼・夜避難訓練を定期的に行っています。	年に2回ないし3回、消防署の協力の下に、昼間と夜間の火災を想定した、初期消火と避難および救急救命の訓練を行っている。近隣の老人ホームとの協力関係もできており、向かいの住民にも声をかけている。	火災の他に、地震への備えおよび水害の危険性の確認も期待したい。また、災害用備品については考慮中とのことなので、その早期実施を期待したい。
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保、業務上知り得た秘密の情報の確保に努めています。	倫理・プライバシーに関するマニュアルを定め、新人研修で指導している。利用者のありのままを受け入れ、日々、寄り添う姿勢を重視した接遇に努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方のわかる力に合わせた言葉かけや説明を行い、利用者様が自己決定できるように働きかけています。意思表示のできない方は表情で判断しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の表情やコミュニケーションにより、外出をしたり、買い物同行や、ホーム内でゲームをするなど支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪は声かけや支援により毎日行われており、理美容は訪問美容をお願いしています。ご家族対応により馴染みの美容院に行かれる利用者様もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや調理、片付け、テーブル拭き等、職員と一緒にいき、ご自分の役割として参加されている利用者様もいます。	食材業者の献立に旬のものを加えたり、希望があればパン食に変更するなどして提供している。食事一連の流れを職員と利用者ができるだけ一緒にやっている。出張出勤寿司や外食も取り入れ、楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養はカロリー計算された食材により確保されており、水分量は定期的に摂取していただくように支援しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来る方、出来ない方と、その方に応じた対応をしており、訪問歯科により個別の口腔ケアも取り入れています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立排泄の利用者が大半であるが、自ら訴えない利用者様は定期的に声掛けし排泄支援しています。	排泄支援は衛生用品を使用する場合なども本人の気持ちを優先しており、尿取りパットの拒否があるケースでは家族と望ましい対応を相談している。時間誘導やタイミングを見て声かけし、トイレでの排泄を促している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便チェックに注意し、主治医のアドバイスと食事や運動による便秘の予防に努めています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日を問わず午後の時間で入浴を設定し、利用者様の希望や状況に合わせて柔軟に支援しています。入浴の嫌いな利用者様には入浴実施記録を活用しながら支援に努めています。	午後の時間帯のみならず、利用者の状態や希望により午前中も対応している。脱衣や湯船につかることを好まず、間隔がやむなく空いてしまう利用者にとっては、次の入浴日まで、清拭やシャワー浴を支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前のコミュニケーションを大事にして安心して眠れるように支援しています。また日中は利用者様の状況をみて自室で休んでいただく場合もあり、状況観察しながら支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的は理解しているが、副作用、用法、用量等についてはあまり理解していない。症状の変化には常に注意しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活リハビリや家事手伝い、趣味活動などを通して、生活の変化、楽しみを支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ご本人の希望とその日の気候に注意し、できるだけ戸外に出かけるように支援しています。また、家族同行の外出は時々ありますが、地域の人々の協力による外出は不十分である。</p>	<p>バスをチャーターし全員で花見に出かけたり、雪まつり見物など季節を堪能する行事的な外出を年2～3回実施している。日常の買い物や散歩の他、利用者個々の趣味や希望に応じ、釣り堀や温泉、居酒屋などへの個別の外出支援にも取り組んでいる。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣い程度をご自分で所持している利用者様もいますが、ほとんどの利用者様は金銭管理が出来ず、お金は事務所管理にしています。買い物時に出来る方はご自分で支払いをいただいています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の支援は要望に応じているが、手紙のやり取りはほとんど出来ていません。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングダイニングルームは照明やカーテンによる調光に配慮し、玄関はスロープになっており安全に移動できるようにしています。</p>	<p>居間と繋がる台所の空間面積はさほど広くはないが、利用者が複数人でも作業しやすいように整頓されている。リビングダイニングルームの照明を2種類設置し、夜間帯は暖色系を灯して落ち着いた雰囲気配慮している。洗濯室や洗面所は日常的に利用者の目に入る位置にあり、活動を促しやすい造りである。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下、玄関先にベンチ置いて、気の合った人と一緒に過ごせるように工夫しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には今まで使用していた馴染みの家具やご本人好みの身の回り品を置いて過ごしていただいています。</p>	<p>利用者が趣味としているものが居室で楽しめるよう個々に応じた設えを支援している。自作の作品を思い思いに装飾したり、自室で好きな読書ができるようデスクなども持ち込まれている。衣類の収納場所が分かるよう収納ケースにラベルを表示するなど、状態に即した対応を行っている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや玄関アプローチにベンチをおき、廊下やトイレ、浴室に手すりを設置し、安全と出来ることへの自立した生活を送れるように工夫しています。</p>		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170503601		
法人名	有限会社 ほのぼの月寒		
事業所名	グループホーム ほのぼの月寒		
所在地	札幌市豊平区月寒東2条19丁目20番59号		
自己評価作成日	平成23年6月26日	評価結果市町村受理日	平成23年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「1F ユニット」に同じ
--------------

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170503601&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170503601&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成23年7月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は理念や運営方針に基づいて『ほのぼのとした日々』が送れるように毎日の業務にあたり、実践につなげています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の参加や、ホームの行事等への招待、災害時避難訓練の協力など積極的に交流しています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームでおこなう夏祭り等に参加していただき、グループホームの存在を知っていただき、また運営推進会議おいはグループホームの意義や認知症について理解していただいています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議では日々の活動報告や利用者様の状況を報告しており、各立場の参加者の意見や評価を活用するように心がけています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日ごろから各担当者と連絡を取り、必要に応じて直接お会いし、事業所の実情や今後のサービスの取り組みを相談しながら協力関係を築くように取り組んでいます。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に身体拘束には注意をはらい、玄関の施錠は夜間のみ行い、日中は自由に外出できるようにし、玄関にはセンサーを設置して外出を把握し、安全面に配慮しています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてはミーティングや研修などで学ぶと共に、日々防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修に参加したした職員により伝達講習をミーティング時におこなっている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には入居前に時間をかけてご家族に説明し、理解・納得していただいている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族が来訪したときには、利用者様の日常の様子をお知らせし、ご家族が意見や要望を言いやすい配慮をしている。また話の内容により事務所で個別にお話を聞く場を設けるなど配慮しています。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が職員と個別に面談し、職員の意見や要望を聞く機会を設け運営に反映させるように努めています。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員が働きやすい環境・条件が十分ではないが努めています。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員が出来るだけ研修に参加できるように機会を設けてます。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホーム管理者と情報交換し、職員を見学させたり、見学の受け入れをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の不安や要望等スタッフ同士で情報交換し、より安心していただけるサービスの向上に取り組んでいます。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを利用する前に、ご家族よりこれからの希望や困っていること、要望などに耳を傾け、ご家族が安心していただけるように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の求めている要望を見極め、その後の支援に努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人とは同じ家庭で、家族の一員として考え、共に助け合いながら一緒に生活し、お互いに支えあいの生活をモットーに過ごしています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にご本人の日々の出来事や職員が気づいたことがらをこまめに報告し、一緒に生活をしていくうえで、嬉しいこと、悲しいことを分かち合う関係づくりに努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との定期的な再会、馴染みに場所への定期的な訪問など、ご本人が大切にしていることへの支援に努めています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係が円滑かつスムーズになるようにスタッフが必要に応じて仲介や橋渡しをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームを退去されて医療機関にて治療されている方を見舞い、他界された方にはご焼香させていただくなどし、継続的に相談や支援に努めています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で言葉や表情から読み取るように努めています。また、コミュニケーションのできない利用者様はご家族や関係者から情報を得、できるだけご本人の意向に沿うように努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報やご家族からの情報により、これまでの暮らしの把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	"いつもと違う"が気づくように、常に注意をはらいながら日々の支援に努めています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の日々の変化や支援のあり方に介護支援専門員の指導のもとに本人またはご家族と話し合い、申し送り後に課題を話し合い介護計画に反映させています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や個人記録に日々の様子やケアの実践を記録として残しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望に柔軟に対応し、趣味の魚釣りやカラオケに行くなど個別の対応も行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園、商店、スーパーへの買い物、ドライブなどを通して地域資源を活用しています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週毎に提携病院による訪問診療(内科)はありませんが、本人やご家族の希望する医療機関への受診もできるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は、毎週の訪問看護に来所する看護師に日々の気づいた事柄を報告と相談し、主治医との情報提供や医療的な支持をしていただいています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には利用者様の情報を提供し、入院中の治療方針をご家族に提供しています。また、入院後の情報や経過を定期的に主治医、看護師より入手しご家族に提供、状況によってはご家族同行のもと相談や話し合いの場を設けるようにしています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時にご家族や本人に継続的な医療行為が発生した時はグループホームでの対応は困難であること、重度化した場合や終末期についてはその都度話し合いにより検討していくこととしています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	火災避難訓練時に救命救急士による講習会をお行っているが、定期的な応急手当の講習会は行っていない。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署と地域住民のご協力により定期的に避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などを実践しています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりの人格を尊重したうえで、適切な声かけや対応を心がけています。また業務上知り得た情報の確保に努めています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ひとりひとりに合わせた言葉かけや説明を行い、利用者様が自己決定できるように働きかけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先してしまう場面もあるが、できるだけ利用者様の要望を聞き入れ、一日一日を大切に過ごしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様による選択を優先し、選択できない方には職員が支援します。理・美容は定期的に訪問していただき、個別に好みの美容院でパーマをかけることもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	積極的に毎食調理に参加する利用者様もあり、食器拭きや下膳など食事への関わりを大切にしながら職員と一緒にしています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスのとれた献立表に基づき調理をしています。また水分量の注意が必要となった利用者様には個別に水分量チェック表にて管理しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方に応じた対応をしており、訪問歯科により個別の口腔ケアと指導もしていただいています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し支援しています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	根菜類や繊維質の食材を積極的に使用するようしたり、歩行運動の働きかけなどを行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	必ずご本人に声をかけ、希望に沿った入浴時間に入浴していただき、入浴剤の利用により楽しんでいただいています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	清潔な寝衣に着替えていただき『おやすみなさい』の挨拶後、安心して眠れるように支援しています。また日中は利用者様の状況をみて自室で休んでいただく場合もあり、常に状況観察しながら支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬はすべて職員管理とさせていただき、薬の目的や用法、用量等は職員が個々の利用者様の薬のファイルにて確認するようにしています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を生かした日々の活動、洗濯物たたみ、もやしのひげとり、調理の味見、食器拭き等々日課として声かけしてお願いしていますが、年齢や認知度の低下に伴い特定の利用者様に偏ってしまいます場合もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ご自分の洋服の購入、パーマをかけに、外食、散歩しながらお店に入り、お茶やコーヒーをいただいたりと、一人ひとりの希望を取り入れた個別外出支援を行っています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭に対する支援の大切さは理解しており、ご家族や本人が希望する場合はご本人に所持していただいています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があればいつでも電話を掛けることができ、手紙をやりとりしている利用者様もいます。また、職員がご家族に電話をかけてあげて、ご家族と会話を楽しんでいただくこともあります。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>換気空調には気をつけており、居間や廊下には季節を感じとれるように工夫しています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにはソファを置き、廊下にはベンチを置いて、一人の時間や気の合った人と一緒に自由に過ごせるように工夫しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのタンス、椅子、鏡台、仏壇、ご家族や思い出の写真等々をご本人やご家族と相談しながら居心地の良い居室づくりに努めています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>『トイレ』『洗面所』などわかりやすいようにし、廊下やトイレ、洗面所、玄関等々手すりを設置し、安全な環境作りをしています。</p>		



## 目標達成計画

事業所名: グループホーム ほのぼの月寒

作成日: 平成 23年 7月 22日

市町村受理日: 平成 23年 7月 25日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議は町内会長、副会長、民生委員、地域包括支援センター、豊平消防署、豊平消防団方々が構成員として出席していただいているが、ご家族の出席がなされていない。	運営推進会議の構成員としてご家族にも参加していただき、率直な意見をもらい、サービスの向上に活かしていく。	運営推進会議の意義を説明し、2か月毎の会議に参加していただき、質問や意見、要望を受け、一層充実した運営推進会議にしたい。	次回運営推進会議より
2	2	事業所と地域とのつきあい 地域住民の一員として町内会の行事や会議に参加し、散歩時には近所の方に積極的に話しかけるなど努めているが、グループホームを理解しているか否か疑問である。	近隣の地域住民にグループホームを、より理解していただき、地域で必要とされる活動や役割を積極的に取り組んでいく。	町内会役員を通じ、地域住民へグループホームの紹介と、施設内見学、または食事会の実行により、地域に根ざしたグループホームとしてさらに理解を深めていただき、地域への貢献を図っていく。	6ヶ月
3	35	災害対策 消防署の協力の下に年2～3回昼間と夜間を想定した火災避難訓練を実施しているが、その他の災害(地震や水害)を想定した対策は行われていない。	火災のみならず地震や水害による危険性も含めた対策を構築する。	地震に対する危険性の確認と対策の実行。災害時の災害用備品の洗い出しと備品の確保に努める	1年
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。